



キッズサポート  
にじいろ

令和3年12月号



「価値観の多様性」

最近、1歳7ヶ月になる娘はNHKで放送をされている「ツバメ」という曲がお気に入り、YouTubeで動画を見ながら踊っています。この曲は、NHKのSDGsキャンペーンのテーマ曲で、YOASOBIが歌っていてミドリズという5人の子どもたちがダンスをしています。メンバーにはダウン症の女の子も参加をしており、SDGsのテーマでもある多様性のある社会を表しています。

SDGsとは「Sustainable Development Goals」の略で、日本語では「持続可能な開発目標」と訳されています。SDGsは持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、本来は国家の目標として設定をされていますが、現在のNHKのキャンペーンでは、より身近な個人の目標として落とし込む事で、子どもたちにも分かりやすくしています。また、近年では企業も17のゴールに沿った形で自分たちが出来る事や取り組んでいる事をホームページなどに載せています。

私が、この仕事をする中でのテーマの一つに「価値観の多様性」という事を掲げています。年齢・性別・国籍・人種・宗教・性的思考などの違いを認めるだけではなく、その人が持つ様々な価値基準に関しても「自分の考えに近い属性を自由に選べる社会が良いな～」と感じています。

これは、私が保育士として働き始めてから、様々な経験をする中で考える様になった事で、以前の私は他人の考えを受け入れる幅が狭かった様に思います。物事に対して「こうあるべき」「こうでなければいけない」という考えに捉われて、人に対して厳しくなっていた事もありました。

しかし、様々な特性の子どもたちと関わり、面談の際に皆さまからその子との歴史を聞く中で、1つのゴール・1つの方法・1つの正解が有る訳ではなく、その子に関わる人の立場によって視点が違い、想いや考えが違うという当たり前の事に気が付く様になりました。そう考えると、面談をする中で保護者の想いや家族の歴史を聞く事は、自分自身の成長にも繋がっているのかもしれない。

違う考えや視点に触れる事、想像を超えた子どもたちの行動、子どもたちの言葉や行動に隠された想い…自分と違う何かに触れて行く楽しさを感じられる事は凄く楽しいです。

●未来へ17action NHK・SDGsキャンペーン

<https://www.nhk.or.jp/campaign/mirail7/index.html>

●SDGsをいっしょに学ぼう ひろがれ！いろとりどり (NHK)

<https://www.nhk.or.jp/irotoridori/>

嵯峨健司

キッズサポートにじいろ狭山 TEL：04-2935-4294  
キッズサポートにじいろ入間 TEL：04-2968-6972

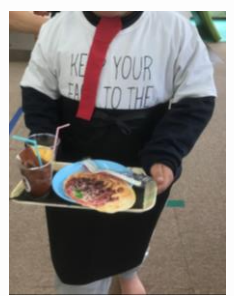
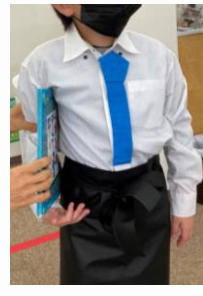
インスタグラムでも活動の様子が見られます！

#メルフィスの小窓  
#キッズサポートにじいろ で検索！

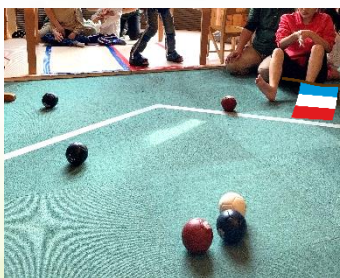


# キッズサポートにじいろ 活動報告

## にじいろ狭山活動紹介



11月3日(水)にじいろ入間とオンラインでつないで「にじいろ合同ミニ運動会」を開催しました。日頃の活動の成果を発揮する場として玉入れ、ペットボトルつなひき、たま送り競争を行いました。にじいろ合同赤チームとにじいろ合同青チームで勝敗を競いました。11月23日(火)は「にじいろレストラン」を開催しました。制服を着て身だしなみを整えて、レストラン開店です。接客係の順番が回ってくると、どの子もみな真剣な表情で、お客さんの注文を受けたり、料理を運んだりしていました。



## にじいろ入間活動紹介



11月は身体を動かす祝日プログラムを2回開催しました。11/3(水)の「にじいろ合同ミニ運動会」では、にじいろ狭山とオンラインで繋がって、対面では実施が難しい運動会をしています。先月のお知らせでも紹介したペットボトル綱引きをはじめ、玉入れやポッチャを楽しみました。特にポッチャは、日高特別支援学校を中心に経験者がいた為、本格的なゲーム形式で楽しむ事が出来ました。

11/23(火)は「歩け歩け大会」と銘打ち、入間川の河川敷を片道2km、皆で散歩しています。身体中にひつつき虫が付いてしまったり、公園でターザンロープに挑戦したものの、怖くて泣いてしまったり、ハプニングもありましたが、怪我や事故なく帰って来る事が出来ました。

## 教材紹介



## ～教材名～

## あいうえおボード

- ・ひらがなを組み合わせて言葉を作る教材として。
- ・文字の形を思い出すきっかけや細かいところを確認するためのものとして。
- ・職員と子どもとの、コミュニケーションツールのひとつとして。個別活動や遊びの場面で使う頻度の高い教材です。「あんぱんまん」など同じ言葉が重なって文字が足りないときは、一つある「ん」を手本にして書き写す子どもの姿も見られます。興味を持っている時期を逃すことなく、楽しみながら言葉を書いたり、覚えるきっかけになっていると感じます。